

2011-2013年に確認できた宮崎鹿島樹叢の陸産貝類

高山茂樹・瀧口景子・布村 昇・宮本 望
富山県貝類同好会

Land snails living at Miyazaki-kashima-jusou Forest, 2011-2013

Shigeki Takayama, Keiko Takiguchi, Nozomu Miyamoto, Noboru Nunomura of Toyama Shell Club
c/o Noboru Nunomura, 111, Taromaru, Toyama, 939-8076 Japan

As the results at Miyazaki-kashima-jusou Forest by Toyama Shell Club during 2011-2013., Eighteen species of land snail were enumerated. Among, them, *Stereophaedusa japonica* was a dominant species around front shrine. *Blanfordia integra*, *Mundiphaedusa discrepans* and *Aegista proba minula* which I was not able to discover for a long term was found.

はじめに

富山県下新川郡朝日町宮崎の宮崎鹿島樹叢は、北アルプスの末端が海に落ち込むところで、昔から鎮守の森として「明神林」と呼ばれ、崩壊防止の役目と併せて、古くから保護されてきた天然林である（朝日町の文化財編集委員会，1987）（図1）。また、宮崎鹿島樹叢のある朝日町は、富山県内平野部で気温、降水量が最も高い（深井，1984）。この理由は、沿岸を流れる対馬暖流の影響や朝日町元屋敷から東には平地がほとんどなく山が海に迫る地形によるものと考えられる。

宮崎鹿島樹叢は暖温帯のヤブコウジ～スダジイ群団の北限に近い群集として、国・天然記念物に指定されている（大田・長津，1984；朝日町の文化財編集委員会，1987）。このように温暖で湿潤そして古くから保護された森であることから、富山県有数の陸産貝類の生息地として知られており、菊池（1937）によりココロマイマイ *Satsuma cardiostoma* (Kobelt) やエチゴヤマキサゴ *Helicina japonica echigoensis* Pilsbry など37種が記録されている。

菊池の報告から70年以上が経過し、宮崎鹿島樹叢がある宮崎鹿島神社及び周辺の環境も大きく変化した。陸産貝類もなんらかの変化があると考えられるが、これまで陸産貝類の調査は行われてい

ない。そこで、2011～2013年にかけて生息調査を行った。この調査では、天然記念物指定地区内での採集は、同定に必要な個体の採集に止めた。



図1 宮崎鹿嶋神社拜殿と鹿島樹叢

今回の調査の結果、10科18種の陸産貝類が確認できた。しかし、菊池（1937）の約5割の種類数に止まった。その原因は、調査努力の不足もあるが、神社境内の整備等の人為的影響や生息地の乾燥化が考えられる。

今回の調査で特筆すべきこととして、絶滅したと考えていたヤマママメタニシ *Blanfordia integra* Pilsbry が再発見された。本種は、秋田県から島根県の日本海側の山地に不連続に分布し、かつては日本海要素型の分布をする陸貝と言われていた

(湊, 1980; 1987)。現在は、伊豆半島や埼玉県でも生息が確認されているが、全国で20箇所ではない(湊, 2005)。かつての鹿島樹叢では、本種は普通に確認できたが、ここ20年近く生息情報がなかった。今回の調査では、低木の幹や葉裏で確認できたが、個体数は多くない。環境省のレッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に、富山県のレッドリストの絶滅危惧Ⅰ類に指定されている(環境省自然環境局野生生物課, 2005)。その他、富山県のレッドリストの絶滅危惧Ⅱ類クニノギセルガイ *Mundiphaedusa kuninoae* や県内の唯一の生息地が消滅したコオオベソマイマイ *Aegista probaminula* の生息が確認できた。また、外来種として、コハクガイ *Zonitoides arboreus* (Say)、チャコウラナメクジ *Lehmannia valentiana* (Férussac) が新たにみつかった。今回確認された陸産貝類の内、レッドリストに掲載されている種は表1に示した(環境省自然環境局野生生物課, 2005; 高山ほか, 2012)。

本調査にあたり、調査の許可していただいた朝日町教育委員会感謝する。

表1 鹿島樹叢で確認できたレッドリストに掲載されている陸産貝類とそのカテゴリー

種名	環境省カテゴリー	富山県カテゴリー
ヤママメタニシ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類
クニノギセルガイ	準絶滅危惧種	絶滅危惧Ⅱ類
オオタキコギセルガイ	なし	準絶滅危惧種

確認した陸産貝類リスト

腹足綱 Gastropoda

前鰓亜綱 Prosobranchia

盤足目 Discopoda

ヤマタニシ科 Cyclophoridae

ミジンヤマタニシ *Nakadaella micron* (Pilsbry)

[調査記録] 20130616, 5ex, 瀧口; 20120617, 4ex, 高山

[生息状況] 林落葉内に生息。普通に見つかる。

ムシオイガイ科 Alycaeidae

ピルスブリムシオイガイ *Chamalycaeus pilsbryi* (Kobelt)

[調査記録] 20110717, 2ex, 高山

[生息状況] スギ林落葉内に生息。やや少ない(図2)。



図2 ピルスブリムシオイガイ

ゴマガイ科 Diplommatinidae

ゴマガイ *Diplommatina ussenensis cassa*

Pilsbry

[調査記録] 20130616, 5ex, 瀧口; 20120617, 2ex, 高山

[生息状況] スギ林落葉内に生息。普通に見つかる。

ヒダリマキゴマガイ *Palaina pusilla* Martens

[調査記録] 20120617, 2ex, 高山

[生息状況] スギ林落葉内に生息。やや少ない。

イツマデガイ科 Pomatiopsidae

ヤママメタニシ *Blanfordia integra* Pilsbry

[調査記録] 20120617, 1ex, 瀧口; 20120617, 2ex, 高山; 20120617, 1ex, 布村; 20130616, 1ex, 高山

[生息状況] 拝殿付近のヤブツバキの幹やヒメアオキの葉裏などで確認できたが、生息数は少ない(図3)。

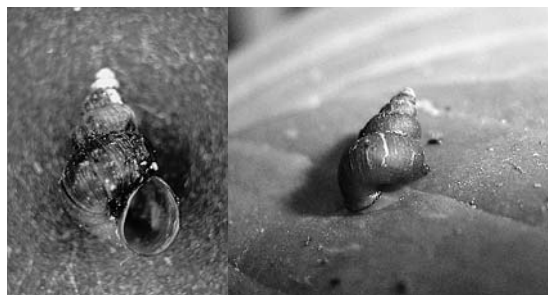


図3 ヤママメタニシ

有肺亜綱 Pulmonata
柄眼目 Stylommatophora
キセルガイ科 Clausiliidae

ナミギセルガイ *Stereophaedusa japonica*
(Crosse)

〔調査記録〕 20120617, 2ex, 瀧口; 20120617,
2ex, 高山; 20120617, 6ex, 布村; 20120716,
28ex, 宮本; 20130616, 1ex, 布村; 20130616,
多数目視, 高山

〔生息状況〕 拝殿周辺の落葉の下や石碑周辺で多
数確認できた (図4)。



図4 ナミギセルガイ

オオタキコギセルガイ *Euphaedusa*
digonoptyx (Boettger)

〔調査記録〕 20120617, 3ex, 高山; 20130616,
1ex, 瀧口; 20120716, 4ex, 宮本; 20130616,
4ex, 高山

〔生息状況〕 朽木の洞や石碑周辺で見つかった。
特に石碑周辺に多く確認できた (図5)。



図5 オオタキコギセルガイ

クニノギセルガイ *Mundiphaedusa kuninoae*
(Kuroda)

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 高山

〔生息状況〕 斜面のくぼみで発見したが個体数は
少ないと思われる。

コハクガイ科 Zonitidae

コハクガイ *Zonitoides arboreus* (Say)

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 布村

〔コメント〕 外来種

コウラナメクジ科 Limacidae

チャコウラナメクジ *Lehmannia valentiana*
(Férussac)

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 瀧口; 20120617,
1ex, 高山; 20120617, 1ex, 布村

〔コメント〕 外来種

ベッコウマイマイ科 Helicarionidae

ベッコウマイマイの一種 *Japanchlamys* sp.

〔調査記録〕 20130616, 1ex, 高山

〔生息状況〕 スギ林内で確認 (図6)。

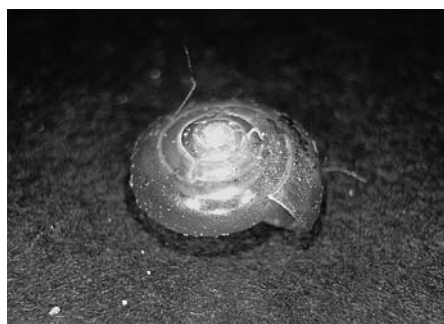


図6 ベッコウマイマイの一種

ナンバンマイマイ科 Camaenidae

ニッポンマイマイ *Satsuma japonica* (Pfeiffer)

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 高山; 20120716,
5ex, 宮本; 20120617, 1ex, 高山

〔生息状況〕 低木の葉の付近で普通に見つかる
(図7)。



図7 ニッポンマイマイ

オナジマイマイ科 Bradybaenidae

コオオベソマイマイ *Aegista proba minula*
(Pilsbry)

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 布村

〔生息状況〕 拝殿付近で採集されたが、生息数は少ないと思われる。

オトメマイマイ *Trishoplita goodwini* (Smith)

〔調査記録〕 20130616, 1ex, 布村

〔生息状況〕 スギ林内で確認。

アズマオトメマイマイ *Trishoplita kurodai*
Habe

〔調査記録〕 20130616, 1ex, 瀧口

〔生息状況〕 不明

チャイロオトメマイマイ *Trishoplita*
mesogonia Pilsbry

〔調査記録〕 20120716, 5ex, 宮本；20130616,
1ex, 高山目視

〔生息状況〕 低木の葉の付近で見つかる (図8)。



図8 チャイロオトメマイマイ

ノトマイマイ *Euhadra senckenbergiana*
notoensis Kuroda & Teramachi, in Kira

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 瀧口；20130616,
1ex, 瀧口

〔生息状況〕 少ない。

ヒダリマキマイマイ *Euhadra quaesita*
(Deshayes)

〔調査記録〕 20120617, 1ex, 瀧口；20120716,
1ex, 宮本

〔生息状況〕 少ない。

引用文献

- 朝日町の文化財編集委員会, 1987. 朝日の文化財.
朝日町教育委員会編, 43pp.
- 東正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑. 保育社.
大阪. 333pp.
- 深井三郎, 1984. 位置・地形・気候・土壌. 朝日
町史自然編, 1-44, 朝日町編. 212pp.
- 環境省自然環境局野生生物課, 2005. 改訂・日本
の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータ
ブック—6 陸・淡水産貝類. 財団法人自然環
境研究センター, 402p.
- 菊池勘左衛門, 1937. 富山県宮崎鹿島樹叢の陸産
貝類. 富山高校博物同好会会誌, 3: 32-41.
- 菊池勘左衛門, 1940. 富山県の陸産貝類目録. 富
山高校博物同好会会誌, 4: 5-20.
- 湊宏, 1980. ヤママメタニシ (その形態・生態・
分布). 南紀生物, 22 (2): 77-79.
- 湊宏, 1987. “日本海要素型” 分布をするイツマ
デガイ類. 南紀生物, 29 (1): 21-24.
- 湊宏, 2005. ヤママメタニシ. 改訂・日本の絶滅
のおそれのある野生生物—レッドデータブック—
6 陸・淡水産貝類, 172. 環境省自然環境局
野生生物課編. 402p.
- 大田弘・長津蔦尾, 1984. 植生. 朝日町史自然編,
朝日町編. 212pp.
- 高山茂樹・瀧口景子・布村昇・宮本望・邑本順亮,
2012. 6.7 軟体動物 (淡水産・陸産貝類). 富
山県の絶滅のおそれがある野生生物. 201-220.
富山県.